

誌面内容リニューアル第一弾! チョッパー・マニア注目の一冊!!!

# CHOPPER Journal

NOV 2016

32

All About American Hot Rod  
and Custom Motorcycles

2016年11月号

チョッパー・ジャーナル 2016年11月27日発行第6巻32号(通巻32号)



新連載  
**The Heritage of Choppers**  
歴史に刻まれるべき名車たち  
Motorcycles DEN/TITAN



**Front Line Topics**

話題のニュースが満載 フロントライントピックス

新連載 **Pick Up Parts Catalog**  
ピックアップ・パーツカタログ  
ハンドルバー

巻頭特集 CHOPPER Journal Report

## Good Times Revival

THE LIFE OF TRUE SURVIVORS

グッド・タイムス・リバイバル、紡がれる時間への敬意



## Freeway CustomCycles Shovel FLH

文・写真=渡辺まこと text&photographs by MAKOTO WATANABE  
取材協力=フリーウェイ カスタムサイクルズ phone 097-558-3587 <http://freeway-bj.com/>

一台のカスタムとして評価すれば、あくまでもライトなメニューでありながら、長い時間の付き合いの中で飽きが来ないもの……そんなものの筆頭として僕は個人的にショベルのストリップドレスラーがあると思っているのだが、この度、フリーウェイによって製作されたこの一台は、まさにその王道と呼べるもの。たとえばカスタム・マシンとして評価すれば、この手の車両はショーの会場でトロフィーを獲得する類のものではないのだが、しかし、じんわりと心に染み渡

るようなそのムードは、好きな者にはたまらない魅力に溢れているといっても言い過ぎではないだろう。

かくゆう僕自身も、この手のマシンは大好きなのだが、フリーウェイのソレはボリスシフターとロッカークラッチにお操作系統が換装され、かなりマニアックな仕様。ストレートに言えば素直に乗りたいと思えるものだ。

過激なカスタムばかりを見ていると麻痺しがちな自分の感覚……コイツの前なら正直、何故か気持ちがホッとする。



①S&SスーパーEに装着されたホーン型のエアクリーナーは同店のオリジナル。ロングセラーを誇る逸品だ。②フルバックパーに備えられたクロスバーは、おそらくメーターマウント用オプション。③ライトダッシュも改めて見ると魅力だ。④操作系はロッカークラッチとボリスシフター。この旧車の装備はマニアにはたまらない仕様だ。

マシンのスタイルは俗にいうストリップドレスラー。今更ながら魅力的に写る一台だ。



①ダッシュもストレッチタンクもトライジャによるワンオフ、オリジナル。白を基調にした独特な文様を描くペイントが高級感を漂わしている。②CV0の1800ccにプロチャージャーを装備。ステップ類もトライジャ製で統一している。③ペイントの下にうっすらと浮かぶテルライト。アイデアもディティールも創意工夫に富んでいる。

ベースは2013年のCV0、FLTRXSE2。その変貌振りにはまさにエクストリーム・バガーだ。

フェアリングからフェンダーにフューエルタンク、そしてサイドバッグに至るまで、バガーのカスタマイズには本来手を加える余地が多くある。それはペイントや純正のデザインを準えた上でのストレッチという手法に留まらず、創意の有る者ならば、少なからずストックのシルエットに縛られずに独自の造形を思い描くこともあるだろう。

ここに紹介しているトライジャのバガーは、そうしたクリエイティブワークに於ける一つの挑戦とも思えるもの。

H-Dのトラディショナルなスタイリングに縛られることなく、隼のライトをフィーチャーしたフェアリングに、ストレッチと共にエッジを際立たせた造形からなる外装は、そのデザインからギミックに至るまで、すべてに創意と工夫を凝らしたものだ。当然、これは好みの別れるところだが、それも新しい何かを世に出す時にはよくあること。

しかし、真のクリエイターは臆せず新しい道を拓くのもまた真理で、それを実現するのにもまた希有な才能なのだ。

文=黒川鏡仁 text by TED KUROKAWA 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE  
取材協力=トライジャ phone 072-970-3110 <http://trijya.com/>

## TRIJYA The Master





# Custom Parts Experiment

## VSR License Plate Side Mount stay & KOKUBI Mini Maker Light

道路運送車両法の改正に伴い、2016年4月より禁止となったサイドナンバーの縦付けだが、今回はその直近の問題を解決するトライジャ製サイドナンバーステーを当コーナーではご紹介。併せて同店のブランド“刻美”からリリースされているミニマーカークライトについてもご覧アレ。

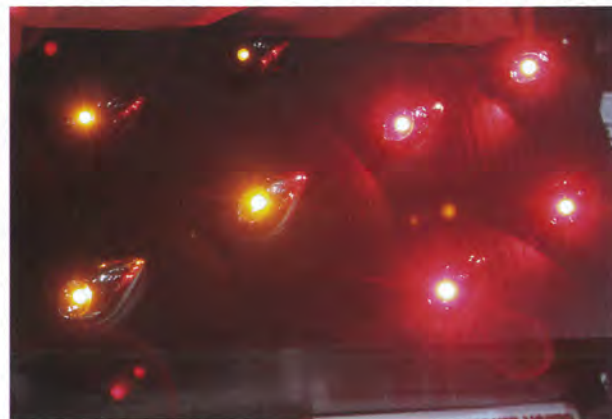
文・写真=渡辺まこと text&photographs by MAKOTO WATANABE 取材協力=トライジャ phone 072-970-3110 http://trijya.com/

### VSR ナンバーサイドマウントステー / 刻美 MINI LED マーカークライト



去る4月に突如起こったサイドナンバーの縦横問題を解決するVSR ナンバーサイドマウントステーは税込みで39,960円。適合車種は本文中をご参照アレ。

超小型で軽量、両面テープで気軽に貼れることがウリの刻美MINI LEDマーカークライトは税込みで19,440円。ウインカーとしてはもちろんテールとしても使用可能だ。



### ツマラぬことで切符を頂戴する前に“転ばぬ先の杖”となるプロダクツ

2016年に我々からしてみれば突然に通達された“サイドナンバーの縦マウント”の禁止問題だが、法律が変わるのであれば、単純にそれに併せて柔軟にカスタムライフを楽しむさえすればいい、というのが我々の見解だ。過去を見れば“違法改造”というものに対して、より厳しい時代があったワケだし、たかだかナンバープレート如きで今更オタついても仕方ないって思うのもズバリ言えば本音でもある。

とはいえ、ご意見無用でサイド縦ナンバーを貫いてキップを切れ、無駄な税金を献上するのはあまりに無策。や

はりここはシレッとナンバーを横向きに付けなおして取り締まりに備えるのがスマートなやり方だろう。

まあ、実際、この問題に際して縦だったものを横に着けなおしたり、シッシーバーにナンバーを付けたりと皆様も対策を講じていると思うが、そんな状況の中、我々が紹介したいと思ったのがトライジャからリリースされるこの“サイドマウントステー”。その対応車種は FXCWロッカーとブレイクアウトなど現行のソフトテイル用なのだが、専用設計を謳うボルトオンゆえ、作業自体もかなり簡単だ。

この先の時代、法律がどう変わろうともこうしたパーツで対処すれば、まだまだカスタムが楽しめるのは当然のこと。皆様には良い意味で、より一層の自己防衛を促したい。

### ソフトテイル系モデルに完全ボルトオン可能な気軽さ 作業自体は、アッサリするほど簡単デス。



1 FXCW(ロッカー)とFXSB(ブレイクアウトスタンダード)、FXSBSE(ブレイクアウトCVO)に適合するこのナンバーですが1/2レンチでベルトガードを取り外す。



2 純正ベルトガードのトップとアンダー、その二つを取り外せば、基本的に作業自体は60%終了。あとはVSR ナンバーサイドマウントを用意すればよいは準備完了です。



3 ご覧のようにソフトテイル系モデルに完全ボルトオンゆえ、取り付け自体はベルトガードを外し、その穴位置にVSR ナンバーサイドマウントを取り付ければ基本、完成。



4 このVRサイドプレートはご覧のとおり、ナンバー照射用のLEDが付属。こうした部分で道交法に準じた仕様となっているのもユーザーにとっては嬉しい限りだろう。



5 カスタムの仕様によって配線の処理が変わる為、一概には言えないが、元のナンバー照射灯のカプラーにギボシ等を使い、配線を繋げばOK。理屈を考えれば簡単だ。



6 配線の皮を向き、ギボシを取り付ける際はご覧のような圧着ペンチ等の電工工具を忘れず、配線をねじって繋ぎ、テープで巻くなどの手抜き作業はトラブルの元。だ。

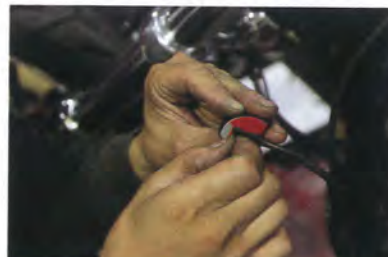


7 配線を繋いだら、あとはナンバープレートを付けるだけ。このキットならリム側ギリギリ追い込んでナンバーを取り付けることも可能。ちなみに縦横調整は自由自在です。



8 ベルトガードのボルト穴にステーを取り付け、ナンバー灯の配線を繋げばご覧のとおり完成。専用設計のボルトオンなので、作業自体は白子抜けするほど簡単である。

### 超コンパクトなサイズと高い視認性を両立する 刻美ウインカー最大の利点とは……。



ご覧のように刻美MINI LEDマーカークライトは裏面に強力な粘着テープ付き。サイズはもとより自分の好きな箇所に気軽に取付けることが出来るのが利点だ。



粘着テープを使用して取り付けるからには、まずはホコリと油分を落とすことを忘れないようにするのも基本。装着箇所は予めパーツクリーナーで軽く洗浄したい。



今回はご覧のスイッチボックス下に刻美ウインカーを取り付けることに。このようにどこでも貼れるのがテープ式の利点だろう。平面箇所なら自在に配置可能だ。



上のナンバー灯と同じように、あとは配線に繋げば作業は完了。ソフトテイル系モデルの場合、タンク内側のこの箇所にウインカーのカプラーが配置されている。



ご覧のような青なら青、紫なら紫と同色の配線に繋ぐのも作業の基本中の基本。無論、取り付けの際は圧着ペンチやギボシ端子、カプラーを使い配線を処理したい。



ハンドルスイッチBOX下に収まるコンパクトなサイズながら、びかっと光ればご覧のとおり存在感。抵抗を新たに追加する必要がない部分も刻美の利点だ。

ナンバーサイドマウントの問題について、様々なことが雑誌やネットで喧伝されているのだが、その中で忘れてならないのが“停車灯を車体の中心に取り付ける”という文言。ナンバーを縦から横に変更しても、ここをオマワ……もとい当局の方にツッコまれれば、サイフにイタイ結果が待ち

受けていることだろう。そうした部分を踏まえてオススメしたのがウインカーとして紹介している刻美LEDをサブテールランプとして装着すること。レンズ色も赤を用意する上、そもそもテールとして使えるので取り付けも安心だ。こうした一工夫が変わらぬChopper Lifeの秘訣だろう。

ソフトイル用 SRB ナンバーサイドマウント

15

TRIJYA

☎ 072-970-3110  
http://trijya.com/



トライジャよりオリジナルパーツ続々。ソフトイル用SRBナンバーサイドマウントステアリングブラック(39,960円)は好評のブレイクアウト、ロッカー用に続いてのソフトイルモデル用。フーリーとホイールの隙間に納まるタイプのサイドマウント仕様で、丸棒を1本1本手曲げ溶接し、立体交差させることで軽さと強度を兼ね備えた仕上がりを持つ。仕上げはブラックパウダーコート。ナンバー穴位置は外位置と内位置の2カ所で、ホイール側に5cm変える事が可能。一般的なものに比べて、ナンバー自体が少し後方にセットされる仕様である。60ミリアップライザーカラー(26,000円/ブラック・ポリッシュ)、30ミリアップライザーカラー(18,900円/ブラック)、リフレクター(2,500円)、太陽ロゴエンジンプレート(2,480円)なども人気商品だ。

16 メキシコの国章をリングで表現

galcia

☎ 03-5433-3656  
http://galcia.cc/



メキシコの国章で、アステカの伝説に由来する「サボテンの上で蛇を喰う鷲」をモチーフにした、ガルシアの新作デザインリング・Aguila Mexicanaがリリース。シルバーボディ×カッパー(34,236円)、シルバーボディ×プラス(34,236円)、プラスボディ×カッパー(23,436円)の3タイプで、リングサイズは基本17(12~22加工可能サイズ)。サボテンに立つ蛇を喰った鷲は、アステカの民が首都を決めるために、ウィツィロポチトリ神の神託により「サボテンの上に蛇を喰らう鷲がいる土地」を探して200年の間彷徨った伝説を持っている逸話だ。リングの内側には商品名でもあるAguila Mexicana(メキシコの鷲・スペイン語)が刻まれている。鷲の上がMクロスではなく、太陽が配置されているバージョンもある。詳細はホームページを参照、または問い合わせにて。

ムーンアイズより秋物グッズをご紹介

19

MOON EYES

☎ 045-623-5999  
www.mooneyes.co.jp/



ムーンアイズより秋物ウェアをご紹介。パーカーから、バックにスポーツスターがプリントされたエキゾチックアイアンジップパーカー(7,600円/M~XXL)、シンプル文字でフロントを飾ったEST1950パーカー(7,200円/S~XL/グレー・レッド・ブルー)、スピード感に溢れるレタリングをバックにプリントした2トーンジップパーカー・スピードスベシャリティ(7,900円/S~XL/ブラック・グレー)。襟元やリブがトリコロールのスタジアムジャケット(7,800円/S~XL/ネイビー・グレー)。黄色が鮮やかな30thキッズパーカー(4,600円/130・150)。バックにタイヤが描かれた66YEARSロングスリーブTシャツ(4,800円/S~XL)。ホワイトボディにアイシェイプのボンネルTシャツ(3,200円/S~XL)。MOONEYESのレタリングが入ったフラットバイザータイプのキャンパーキャップ(3,900円/ブラック・ネイビー・チャコール)。ほかキーホルダーや各種収納アイテム、ラットフィンクグッズなど、紹介できないほどのニューアイテムが目白押し。詳細はホームページを参照デス。

ショークラスマガジンから人気ウェアが登場

17

CYCLE TRASH

☎ 023-625-7108  
www.cycletrash.net/



ショークラスマガジンブランドからアイアングロスオールドロゴブルオーバーフーディー(S~M/ブラック)、ジョーアングルTシャツ(S~L/ブラック)、ジョーアングルソックス(ワンサイズ)。ブルックリンのジュエリーブランド・ウィットネスカンパニーからグリスクローペンダント(全長約39ミリ/チェーン長約68センチ)、サポートグッドパイプズピンバッジ(全長約30ミリ)。5カラーで揃えられた定番バイカーシェード・KD'sのX-KD'sバイカーシェードは、従来のKD'sより20%ほどレンズが広い仕上がり。詳細はホームページを参照して欲しい。

アメリカの老舗メーカー製品、取り扱い開始

18

NEO FACTORY

☎ 043-441-8082  
http://www.neofactory.co.jp/



ネオファクトリーがアメリカの老舗ツールメーカー・ライルコーポレーションの取り扱いを開始した。ハーレーダビッドソンと同じ1903年創業の歴史あるメーカーで、一般整備工具はもちろん、自動車やバイク整備に必要な特殊工具も数多く取り揃えており、プロショップからDIYビルダーまで幅広い層に支持されているメーカーだ。また国内では、スナップオンやマックツールなどが取り扱っているブランドとしても有名。同時にネオファクトリーは、液体ガスケットの老舗メーカーとして半世紀以上親しまれている、高品質ケミカルメーカー・ガスガシチも取り扱い開始。乳白色で液状のガスケットシール剤は代表する溶剤で、効果的にシールすることで幅広い分野で活躍している。こちらも詳細はホームページをご参照あれ。

コーデュラ製ユーティリティーバッグ登場

20

BLACK PARADE

☎ 052-898-4658  
www.blackparadejp.com/

アウトローバイカー寄りにデザインされたウェアを展開するブラックパレードより、ツーリング時などに便利な日本製バイク装着用ギア・コーデュラユーティリティーバッグ(15,984円)がニューラインナップ。ナイロンの7倍の強度を持つコーデュラファブリックの中でも、ハイスベックとされるコーデュラ1680を素材に使用したことで、摩擦、引き裂き、擦り切れ等に強く、高い撥水性も兼ね備えたハードユーズに対応する仕上がりだ。ファスナーにはYKK製の止水ジップを採用して防水性を高め、内側はブラックパレードオリジナルのデジタルカモ仕様で装飾されている。サイズは横24×縦18×幅4センチ。4本のベルクロストラップが付属するので、ハンドルバーやサイドストラップ、シートサイドなど、車体のさまざまな個所に好みに装着できる。詳細はホームページを参照するのが吉。

